

読得
ヨミトク

No. 77

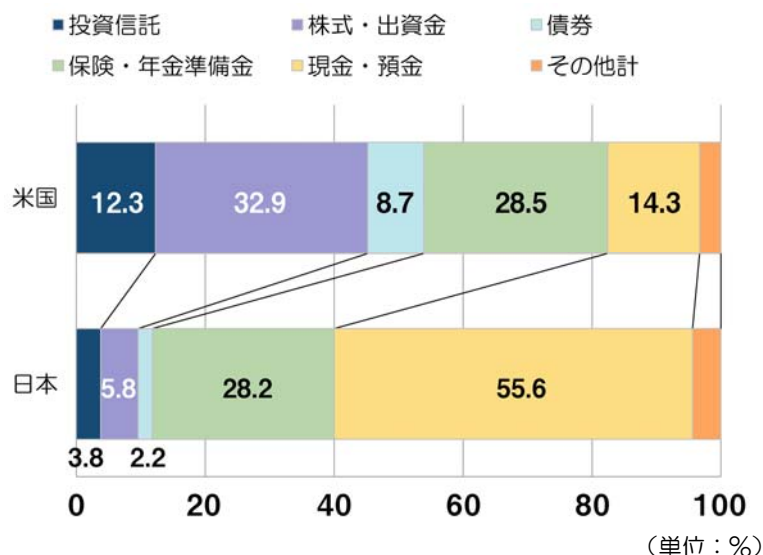
グレート・ローテーション（大転換期）のきざし

2013年は「グレート・ローテーション（大転換）」の年になるだろうとの見方が、エコノミストや市場関係者の間で広がっています。「グレート・ローテーション」とは、世界のマネーが債券から株式へと歴史的な資金移動が起こる、という期待が込められた言葉です。2012年に市場が危惧した三大不安（欧州債務問題の再燃、米国の「財政の崖」、中国の景気低迷懸念）が軽減されてきたことで、リスクオフからリスクオンへと流れが変わる大きな転換点を迎えたことが要因と考えられます。実際、2013年に入り米国における公募株式投信の国内株（米国株）への資金フローが流入に転じるなどの変化が起きている。

米国の家計の資産構成は日本などと比べ、株式・出資金の割合が32.9%、投資信託の割合は12.3%とリスク性の高い資産の割合が大きいという特徴があります。このような資産は、株価の上昇に伴い資産価格が上昇するため、結果として家計の負担感が和らぐことに繋がります。

米国だけでなく、日本もこの数カ月の株価上昇により投資額が増加傾向にあります。市場関係者だけでなく、個人投資家にとっても株式投資への注目が高まっています。

米国と日本の家計構成比



(出所) 日本銀行 2012年9月末値

米国公募投信

米国株への純流入額



(出所) Investment Company InstituteのデータよりGSAM算出

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。本資料に記載された過去のデータは将来の結果を保証するものではありません。本資料は、信頼できるとされる資料に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された市場の見通し等は、本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合があります。個別企業あるいは個別銘柄についての言及は、あくまで例示をもって理解を深めていただくためのものであり、当該個別銘柄の売買、ポートフォリオの構築、投資戦略の採用等を推奨あるいは勧誘するものではありません。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(1)複写、写真複写、あるいはその他いかなる手段において複製すること、あるいは(2)再配布することを禁じます。<審査番号:93420.OTHER.MED.OTU>

© 2013 Goldman Sachs. All rights reserved.